

2月の果実の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
みかん類	6,275	前年を上回る	10,296	340	81	264	0.0	0.0	主力となる静岡産「青島温州」は大玉が特に食味の良さから、贈答や業務で使用され価格を引っ張る予想。前年は過少供給で価格がかなり高かったが、今年は1月には平年並みの価格に落ち着いた。2月にかけては特選品が前倒しで本格化し価格は徐々に持ち直す見込み。
りんご類	7,375	前年を下回る	6,479	303	105	294	39.0	0.5	青森産中心。今年度の「ふじ」は外観の着色は薄いが高糖度の仕上がりで、購入したお客様の満足度は高いと思われる。産地在庫は総じて少なく、市場も大事に販売することでスムーズな集荷が予想される。価格は前年の105%とやや高い水準をキープできる見込み。
いちご類	3,810	前年を上回る	3,934	1,445	98	1,322	0.0	0.0	入荷量は前年を上回るが、年末～年明けにかけて価格を修正したことで引き合いが強く、販売環境は良い。2月に入れば若干品薄感はあるが、各種フェアなどの規格も多く、食味も充実することから安定した販売が続く見込み。
キウイ	880	前年を上回る	883	534	97	430	0.0	0.0	早めに年内に切り上がると予想されたニュージーランド産が1月半ばまで出回ったが、国産への切り替えはスムーズだった。小ぶりであることや、2～3月に集中出荷となりそうなことから、価格は前年をやや下回ると予想される。